

第 1 章 業務概要

章 内 目 次

1.1 業務目的.....	1-1
1.2 業務内容.....	1-1
1.3 工期.....	1-1
1.4 実施工程.....	1-2
1.5 業務内容.....	1-3
1.5.1 計画準備.....	1-3
1.5.2 既存資料等の整理.....	1-3
1.5.3 交通運用手法の検討.....	1-3
1.5.4 交通マネジメントシステムの検討.....	1-3
1.5.5 交通運用マネジメントシステムの運用計画検討・策定.....	1-3
1.5.6 関係機関協議資料作成.....	1-3
1.5.7 報告書作成.....	1-4
1.6 業務フロー.....	1-5
1.7 業務計画書の作成.....	1-5

1. 業務概要

1.1 業務目的

本業務は、東京外かく環状道路（関越～東名）（以下、外環）の各 JCT 等に搬出入する資機材等の交通に関して、既存交通の影響を軽減するために総合的な交通マネジメント計画を立案し、技術的な仕様の詳細検討を行い、工事関係交通を一元的に管理運営するためのマネジメントシステムの運用手法の検討・策定を行うものである。

1.2 業務内容

本業務の構成は以下のとおりである。

- ① 計画準備
- ② 既存資料等の整理
- ③ 交通運用手法の検討
- ④ 交通マネジメントシステムの検討
- ⑤ 交通運用マネジメントシステムの運用計画検討・策定
- ⑥ 関係機関協議資料作成
- ⑦ 報告書作成
- ⑧ 打合せ

1.3 工期

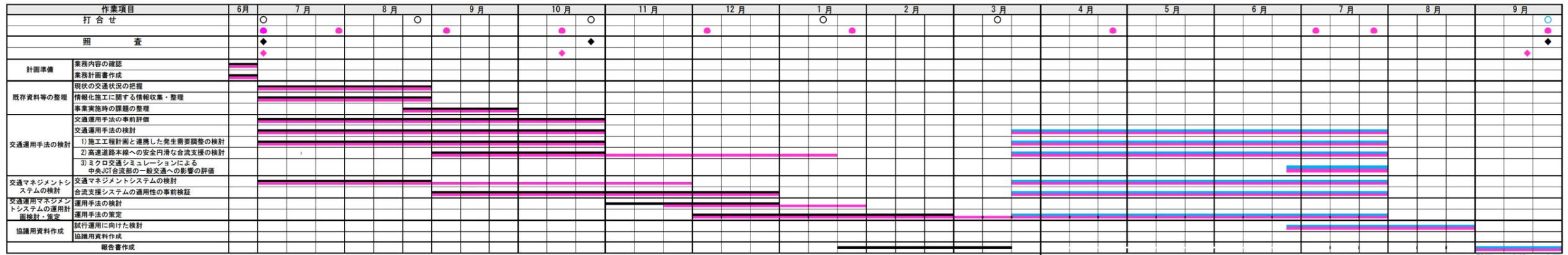
平成 27 年 6 月 23 日～平成 28 年 9 月 30 日

1.4 実施工程

業務スケジュール管理表

業務名	H27 外環交通運用検討業務
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ(株)
契約額	¥36,450,000(消費税込み)
管理技術者	
担当技術者(主)	TEL:03-8777-4476
(副)	TEL:03-8777-4476
主任調査員	森山課長、笹木課長(2016.4より)
調査員	鈴木係長

現在の状況	納品、完了
現在の課題、問題	
当面の目標、予定	
次回打合せ	



着手日	作業事項(タスク)	発注者	受注者	期限	状況	今後の検討事項・課題・目標	予定	懸念事項	解決策等
2015/6/30	着手時 通知書、経歴書、技術者届等	○	○						
2015/7/1	業務計画書提出	○	○	7/1	作業項目および確認事項の確認				
2016/6/29	設計変更	○	○	6/29	協議用資料作成に関する設計変更				
		○	○	7/1	設計変更内容の確認				
2015/7/2	既存資料等の整理	○	○	7/28	現況の交通状況整理結果を提示				
		○	○	9/4	既存IC技術の整理結果を提示				
2015/7/8	交通運用手法の検討	○	○	7/28	HCMによる交通処理評価結果を提示				
		○	○		システムの主要機能を提示				
		○	○	10/15	中央道合流部の動的手法による交通処理評価結果を提示				
		○	○	12/4	合流支援方策の検討内容を提示				
		○	○	1/26	現況を踏まえた合流支援方策の検討結果を提示				
2015/7/8	交通マネジメントシステムの検討	○	○	7/28	システム構成イメージの提示	概算費用の整理			
		○	○		ETC2.0活用方針の提示	運用主体と運用方法を整理		ETC2.0対応車載器の調達方法	
		○	○	10/15	需要調整・発生土トレーサビリティの方針を提示	関東地方整備局との調整を実施			
		○	○	9/4	システム構成の確認	システムの全体イメージ(最終形)を整理			
		○	○		ETC2.0活用に関する関東地方整備局向け説明資料提示				
		○	○	9/4	リアルタイム交通情報収集に関する整理結果提示				
		○	○	10/15	システム運用体制の提示	関係IVとの協議		関係IVとの合意調整	
		○	○	10/15	需要調整・発生土トレーサビリティの方針を提示				
		○	○	12/4	システムの早期導入に向けた検討内容を報告				
		○	○		ETC利用に関する制度および実施方針を提示				
		○	○	7/20	システムの役割分担(案)を提示	NEXCO中日本との協議		NEXCO中日本との合意調整	
2015/11/26	交通運用マネジメントシステムの運用計画検討・策定	○	○	7/1	工事車両需要調整の運用ルールについて提示				
		○	○		運用マニュアル(案)の作成状況を報告				
2016/6/29	協議用資料作成	○	○		協議用資料の作成(計6回)	試行運用実施対象の施工業者との協議		試行運用実施対象の施工業者との合意調整	
		○	○	7/1	試行運用に向けた検討スケジュール提示	試行運用システム構築への着手の進捗		試行運用システム構築への着手の進捗	

1.5 業務内容

1.5.1 計画準備

本業務の目的・主旨を把握したうえで、設計図書に示す業務内容を確認し、業務計画書を作成し調査職員に提出するものとする。

1.5.2 既存資料等の整理

交通運用の検討を実施するにあたり、既存の交通データより、外環と接続する各高速道路の本線や JCT・IC 周辺などの現状の交通状況を把握・整理するとともに、情報化施工関連の情報を収集・分析し、事業実施時の課題を整理するものとする。

1.5.3 交通運用手法の検討

前項で整理した交通状況、課題および事業実施時に想定される工事用関係車両の搬出入交通をもとに、工事関係車両の円滑な交通および一般車両への影響を軽減するための交通運用手法を立案する。

- 1) 施工工程計画と連携した工事関係車両の発生需要の調整を行う方法の検討を行う。
- 2) 高速道路本線への安全・円滑な合流支援を行う方法の検討を行う。
- 3) 中央 JCT の仮設ランプから本線への合流部における工事車両関係の円滑な交通及び一般車両への影響の検討にあたっては、合流部の道路構造等を踏まえたマイクロ交通シミュレーションによる評価を行うものとする。

1.5.4 交通マネジメントシステムの検討

前項で立案した交通運用手法を一元的に管理運営するためのマネジメントシステムを検討するものとする。

なお、検討にあたっては、既存の ICT 技術等の活用も検討するものとする。

また、高速道路本線への安全・円滑な合流支援を実現するシステムの検討にあたっては、現地での交通流観測に基づき、交通状態判定を試行し、工事関係車両に対する情報提供等への適用性を検証するものとする。

1.5.5 交通運用マネジメントシステムの運用計画検討・策定

前項で検討したマネジメントシステムを運用するための運用手法を検討・策定するものとする。

1.5.6 関係機関協議資料作成

実工事現場へのマネジメントシステムの早期導入を図るため、機能や実施箇所等を限定した試行的な運用の実施に向けて、試行運用において導入する機能・導入箇所、導

入費用、検証項目等について具体的な検討を行うとともに、関係機関等への協議用資料を作成する。

1.5.7 報告書作成

報告書作成は、検討内容及び有識者の指導等の内容のとりまとめを行うものである。

1.6 業務フロー

下記のフローに沿って業務を実施する。

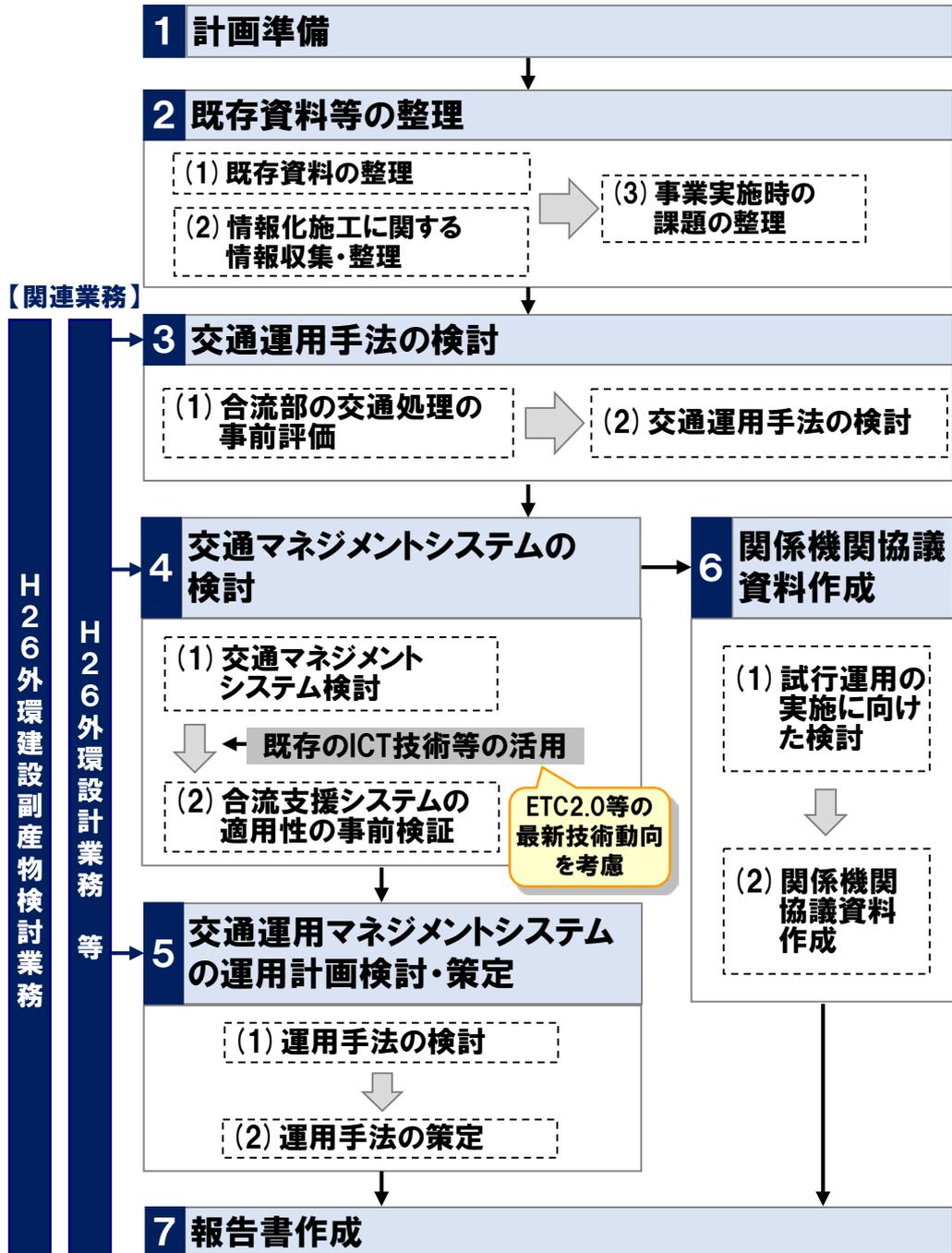


図 1-1 業務フロー

1.7 業務計画書の作成

以上の整理を踏まえ、業務計画書を作成した。